

沖永良部島地域流域治水プロジェクト

※個別対策

～いつか必ずくる大規模出水に備え、水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策～

沖永良部島地域流域治水協議会

沖永良部島地域流域治水プロジェクト

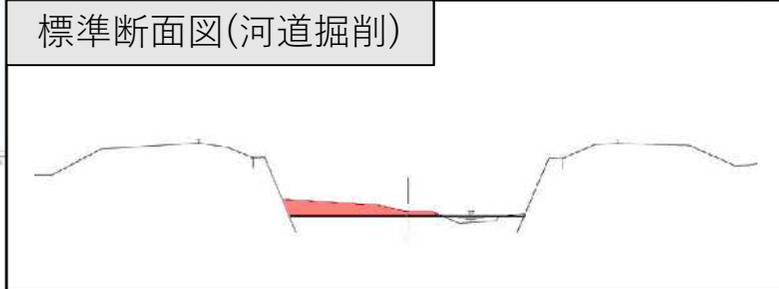
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

沖永良部島地域流域治水プロジェクト

～いつか必ずくる大規模出水に備え、水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策～

河川整備箇所（河道掘削・樹木伐採）【鹿児島県】

○河道に堆積した土砂の掘削及び樹木の伐採により、流下能力の向上を図る。



区分	対策内容	実施内容	事業主体	工程		
				短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	洪水氾濫対策	河道掘削, 樹木伐採	鹿児島県	短期	中期 5か年加速化対策完了	中長期

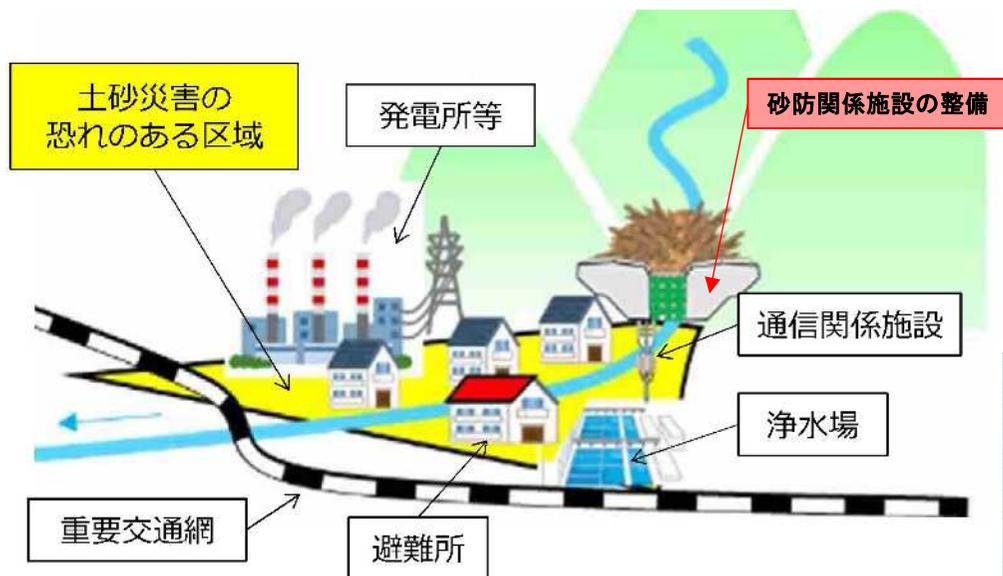
沖永良部島地域流域治水プロジェクト

～いつか必ずくる大規模出水に備え、水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策～

いのちとくらしを守る土砂災害対策の推進【鹿児島県】

○社会・活動を支える地域の基礎的なインフラの集中保全

・ハード施設により確実に「いのち」を守ることに加え、物流ネットワークや電力、水道、通信、学校、病院など「くらし」に直結する基礎的なインフラを集中的に保全



○土砂・洪水氾濫対策の推進

・上流域から流出した多量の土砂が谷出口より下流の河道に堆積し、河床上昇・河道埋塞により引き起こされる土砂、泥水及び流木の氾濫発生を防止



区分	対策内容	実施内容	事業主体	工程		
				短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	土砂災害対策	いのちとくらしを守る土砂災害対策の推進	鹿児島県		→	

沖永良部島地域流域治水プロジェクト

～いつか必ずくる大規模出水に備え、水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策～

森林整備・保全、治山施設整備の取り組み【鹿児島県等】

- 間伐等の森林整備を行い、保水機能の維持を通じて、土砂や流木等の流出抑制を図る。
- 治山施設の整備による森林の復旧を行い、下流への土砂流出抑制を図る。

【治山施設整備イメージ】
山地災害の恐れのある森林



治山施設の整備（山腹工）



【森林整備イメージ】
土砂流出の恐れのある森林



林内が暗く下層植生が貧弱な森林

森林の整備（間伐）



間伐により下層植生が繁茂した森林



区分	対策内容	実施内容	事業主体	工程		
				短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	流出抑制対策	森林整備	県・町・森林組合等	▶		
		治山施設整備	鹿児島県	▶		

沖永良部島地域流域治水プロジェクト

～いつか必ずくる大規模出水に備え、水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策～

水路の維持及び整備の取り組み（石橋川・奥川水系）【和泊町】

水路の土砂除去



・水路の土砂除去を直営施工で実施

水路の改修工事



・排水不良地域解消のため改修工事を実施

■ 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
・水路の維持及び整備による水害対策



区分	対策内容	実施内容	事業主体	工程		
				短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	洪水氾濫対策	水路の維持及び整備	和泊町	▶		

沖永良部島地域流域治水プロジェクト

～いつか必ずくる大規模出水に備え、水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策～

河川維持管理の取り組み（石橋川・奥川水系）【和泊町】

河川の清掃活動



・地域による河川区域の伐採作業を実施

- 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
 - ・ 準用河川を含む河川区域の伐採を行い、倒木等による河川閉塞を防ぐ



区分	対策内容	実施内容	事業主体	工程		
				短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	洪水氾濫対策	河川区域の伐採	和泊町	▶		

沖永良部島地域流域治水プロジェクト

～いつか必ず来る大規模出水に備え、災害に負けない地域づくりに向けて地域が一体となった防災・減災対策～

浸透池設置・側溝等の維持管理（余多川水系）【知名町】

- ・浸透池を設置することで、流出抑制対策を行う
また、側溝等に堆積した土砂の掘削により流下能力の向上を図る。



区分	対策内容	実施内容	事業主体	工 程		
				短 期	中 期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	洪水氾濫対策	浸透池の設置	知名町			
		側溝等の維持管理				

沖永良部島地域流域治水プロジェクト

被害対象を減少させるための対策

沖永良部島地域流域治水プロジェクト

被害の軽減， 早期復旧・復興のための対策

沖永良部島地域流域治水プロジェクト

～いつか必ずくる大規模出水に備え、水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策～

出前講座・防災学習の実施【気象庁】

eラーニング教材「大雨の時にどう逃げる」

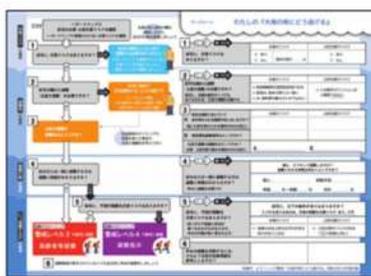
<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/knownow/jma-el/dounigeru.html>



動画とワークシートで基本的な知識ととるべき行動を学びます



動画教材



ワークシート

「自らの命は自らが守る」
基本の知識を身に付ける

約17分

大雨の時に...
「どこが危ない？」がわかる
「どこに逃げる？」がわかる
「何をしたらいい？」がわかる
「いつ避難したらいい？」がわかる



動画教材
を視聴

いざというときのために
ひとり一人の「避難行動」を整理

約30分

自分の...

「災害リスク」がわかる
「避難場所」がわかる
「避難にかかる時間」がわかる
「避難のタイミング」がわかる



ワークシート
に記入

別の防災研修、学習の前にこれだけやる！

「避難」の知識がある方は、ここから！

1時間の研修にピッタリ！



好きな時間
ペースで学べる

教材は、すべて気象庁
ホームページで公開しています

感染症
拡大防止

他人と接触せず
学べる教材です

専門家や経験者が
いなくても大丈夫

学習の進め方を解説する資料に
沿って進められます

区分	対策内容	実施内容	事業主体	工程		
				短期	中期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	防災学習の推進	出前講座・防災学習の実施	関係機関			

沖永良部島地域流域治水プロジェクト

～いつか必ずくる大規模出水に備え、水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策～

防災ワークショップの実施【気象庁】



ワークショップ概要

時間 1時間30分～2時間程度
対象 小学校高学年から大人まで
定員 10人～50人程度

基本形

130分

イントロダクション 5分

A レクチャー 20分

休憩 10分

グループワーク 60分

ステップ①

B ステップ②

ステップ③

C 発表・まとめ 35分

- 防災意識を高め、実際の行動につなげていただくため、自らの問題として日頃からの備えや適時適切な防災気象情報の入手とその情報を活用した**安全行動を事前にシミュレートする**能動的な学習方法。
- 参加者アンケートの結果からは、**ワークショップに参加する前後で安全知識や防災対応力が大きく向上することが認められています。**



質問を交えながら進めるわかり易い解説



少人数のグループに分かれ、様々な意見をまとめて対応を考えるグループワーク

区分	対策内容	実施内容	事業主体	工程		
				短期	中期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	防災学習の推進	防災ワークショップの実施	関係機関	▶		

沖永良部島地域流域治水プロジェクト

～いつか必ず来る大規模出水に備え、水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策～

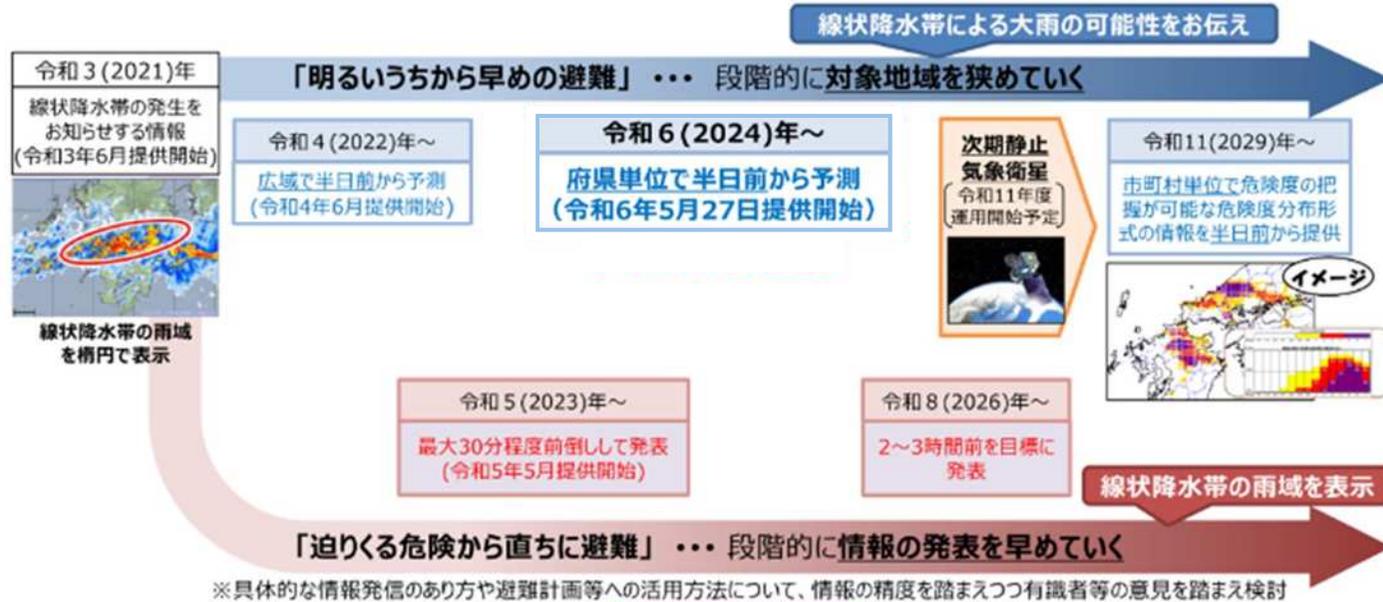
気象庁HP利用促進、防災気象情報の改善【気象庁】

線状降水帯の予測精度向上に向けた取組（情報の改善）

観測の強化、予測の強化の取組の成果を順次反映することで、線状降水帯に関する情報の段階的な改善を実施。

- 令和4年6月、線状降水帯による大雨の可能性の半日程度前からの呼びかけ（広域を対象）を開始。
- 令和5年5月、線状降水帯の発生をお知らせする情報（最大30分程度前倒して発表）を開始。

令和6年5月から、半日程度前からの呼びかけについて、対象地域を府県単位に絞り込んでの運用を開始。



国民ひとりひとりに危機感を伝え、防災対応につなげていく

区分	対策内容	実施内容	事業主体	工程		
				短期	中期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	防災情報、避難体制の検討、連携強化	気象庁HP利用促進 防災気象情報の改善	気象庁			

沖永良部島地域流域治水プロジェクト

～いつか必ず来る大規模出水に備え、水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策～

気象庁HP利用促進、防災気象情報の改善【気象庁】

警戒レベル相当情報の体系整理（情報の改善）

◎ シンプルでわかりやすい情報体系・名称に整理 ※令和8年度出水期からの運用開始予定

【洪水】：氾濫による社会的な影響が大きい河川（洪水予報河川、水位周知河川）の外水氾濫を対象とし、河川ごとの情報とする。これ以外の河川の外水氾濫については、内水氾濫と併せて市町村ごとに発表する【大雨浸水】に関する情報とする※1。

【土砂災害】：発表基準の考え方を統一し、災害発生確度に応じて段階的に発表する情報とする。

【高潮】：潮位に加えて沿岸に打ち寄せる波の影響を考慮し、災害発生又は切迫までの猶予時間に応じ段階的に発表する情報とする。

	洪水に関する情報 「洪水危険度」		大雨浸水に関する情報 「大雨危険度」※1		土砂災害に関する情報 「土砂災害危険度」	高潮に関する情報 「高潮危険度」
	氾濫による社会的影響大の河川（洪水予報河川、水位周知河川）の外水氾濫		内水氾濫及び左記以外の河川の外水氾濫			
発表単位	河川ごと		基本的に市町村ごと		基本的に市町村ごと	沿岸ごと又は市町村ごと※2
警戒レベル相当情報※4	5相当	レベル5 氾濫特別警報※3	レベル5 大雨特別警報	レベル5 土砂災害特別警報	レベル5 高潮特別警報※3	
	4相当	レベル4 氾濫危険警報	レベル4 大雨危険警報	レベル4 土砂災害危険警報	レベル4 高潮危険警報	
	3相当	レベル3 氾濫警報	レベル3 大雨警報	レベル3 土砂災害警報	レベル3 高潮警報	
	2	レベル2 氾濫注意報	レベル2 大雨注意報	レベル2 土砂災害注意報	レベル2 高潮注意報	

左記情報名称のポイントをシンプルに表現
→将来的に「警戒レベル」が社会に十分に浸透した際には、以下のようなシンプルな形の名称を検討することも一案。

	洪水危険度	大雨危険度	土砂危険度	高潮危険度
5相当	洪水レベル5	大雨レベル5	土砂レベル5	高潮レベル5
4相当	洪水レベル4	大雨レベル4	土砂レベル4	高潮レベル4
3相当	洪水レベル3	大雨レベル3	土砂レベル3	高潮レベル3
2	洪水レベル2	大雨レベル2	土砂レベル2	高潮レベル2

- ・ 情報名称の最終決定は、法制度や実際の情報の運用、伝え方なども踏まえ、気象庁・国土交通省が行う。
- ※1 警戒レベル相当情報への位置づけについては、関係機関で今後の課題として検討。
- ※2 発表単位をどうすべきかについては、情報利用者の視点も踏まえつつ、引き続き関係機関で検討。
- ※3 洪水予報河川または水位周知河川、高潮に関する情報の対象沿岸において氾濫の発生を確認した場合、その旨を氾濫特別警報または高潮特別警報の文章情報等に明記。
- ※4 警戒レベル相当情報とは、国・都道府県が発表する防災気象情報のうち、居住者等が自ら行動をとる際の判断に参考となる防災気象情報と5段階の警戒レベルとを関連付けるものである。警戒レベル相当情報が発表されたとしても必ずしも同時刻に同じレベルの避難情報が発令されるものでない。

区分	対策内容	実施内容	事業主体	工程		
				短期	中期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	防災情報、避難体制の検討、連携強化	気象庁HP利用促進 防災気象情報の改善	気象庁	→		

沖永良部島地域流域治水プロジェクト

～いつか必ずくる大規模出水に備え、水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策～

水位計・監視カメラの設置、防災情報の提供【鹿児島県，気象庁】

- 各機関において、防災情報の提供を目的に、水位計・監視カメラ・雨量計を設置しているところである。
下図のように沖永良部島地域内の施設位置を示し、自分が住んでいる地区にはどのような観測機器があるか、そして、自分の身を守るための防災情報として何の情報取得できるか、自らの自助・共助へ繋げるよう、防災意識の更なる高揚を図る。
- また、洪水時における氾濫発生の可能性が高い箇所等の危険箇所や、地先レベルの水位・状況を把握することを目的に、危機管理型水位計・簡易型カメラも設置しており、今後、必要に応じて、追加設置を行っていく。

沖永良部島地域内に設置されている各施設数（R4.3末時点）

管理者	水位計		カメラ	雨量計
	水位局	危機管理型		
鹿児島県	—	1	1	2
気象庁	—	—	—	—
合計	—	1	1	2



簡易型河川監視カメラ



沖永良部島地域における
水位計・監視カメラ・雨量計の位置図



危機管理型水位計

- 凡例
- ▷ 水位計, カメラ
 - ▲ 水位計
 - △ 危機管理型水位計
 - 雨量計(県)
 - 雨量計(気象庁)

区分	対策内容	実施内容	事業主体	工程		
				短期	中期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	防災情報、避難体制の検討・連携強化	水位計・監視カメラの設置、防災情報の提供	鹿児島県，気象庁	▶		

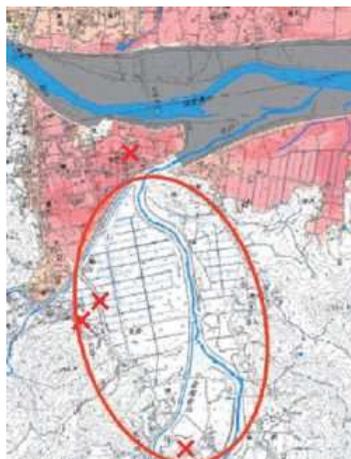
沖永良部島地域流域治水プロジェクト

～いつか必ずくる大規模出水に備え、水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策～

洪水浸水想定区域図の作成・公表【鹿児島県】

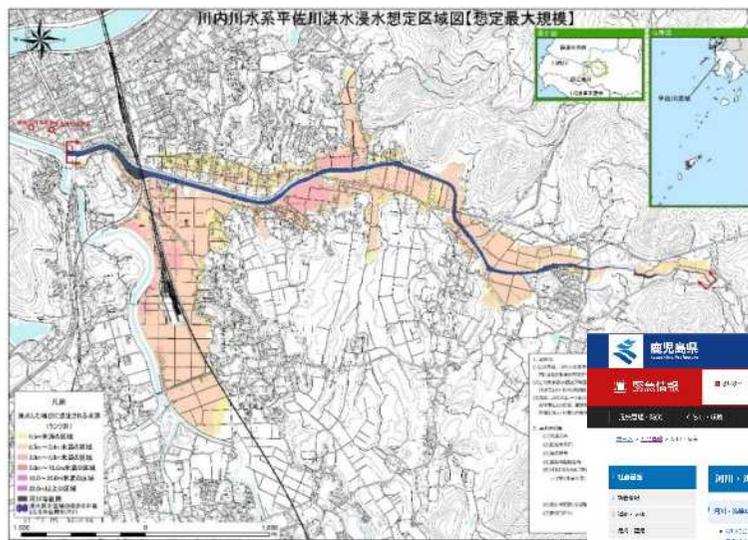
- ・令和3年の水防法の改正に伴い、洪水浸水想定区域の設定が洪水予報河川や水位周知河川等だけではなく、住家等の防御対象のあるすべての河川に拡大された。
- ・新たに設定が可能となった河川について、洪水浸水想定区域図を作成・公表し、水害リスク情報空白域の解消を図る。

洪水浸水想定区域外で浸水被害があった事例



洪水浸水想定区域の設定がなく、水害リスクが示されていないエリア（水害リスク情報空白域）

浸水想定区域図（仙台河川国道事務所）
赤×印は被害発生位置



洪水浸水想定区域図のイメージ



県HPで公表予定

区分	対策内容	実施内容	事業主体	工程		
				短期	中期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	土地のリスク情報の充実	洪水浸水想定区域図の作成・公表	鹿児島県	→		

沖永良部島地域流域治水プロジェクト

～いつか必ずくる大規模出水に備え、水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策～

鹿児島県水害リスクマップの運用【鹿児島県】

- 鹿児島県で把握・公表している水害リスク情報（洪水浸水想定区域や浸水実績）について、地図情報上に集約化し、「鹿児島県水害リスクマップ」として県ホームページに公表（R3.2月末より運用）

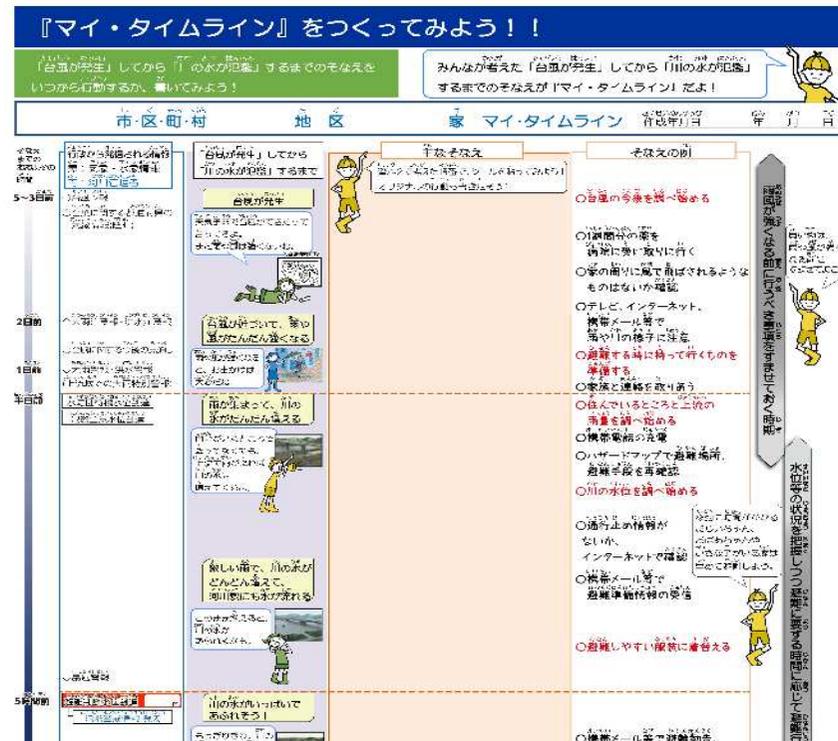


区分	対策内容	実施内容	事業主体	工程		
				短期	中期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	防災情報、避難体制の検討・連携強化	鹿児島県水害リスクマップの運用	関係市町、鹿児島県			

沖永良部島地域流域治水プロジェクト

～いつか必ずくる大規模出水に備え、水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策～

マイタイムラインの作成・支援 【鹿児島県】



今後、県及び市町村の防災担当職員を対象に説明会を開催予定。
それを受けて、各市町村において地域住民対象の説明会の開催を検討してもらい
住民自らが作成していけるよう取り組みを進めていきたい。

区分	対策内容	実施内容	事業主体	工程		
				短期	中期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	防災情報、避難体制の検討・連携強化	マイタイムラインの作成・支援	関係市町、鹿児島県			

沖永良部島地域流域治水プロジェクト

～いつか必ずくる大規模出水に備え、水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策～

地域の防災力向上【鹿児島県，和泊町，知名町】

地域の防災リーダー育成

地域防災リーダー養成講座の様子



講義（自主防災組織）



AEDを使用した心肺蘇生法訓練

モデル地区による地区防災計画作成



防災さんぽ
(まち歩き)



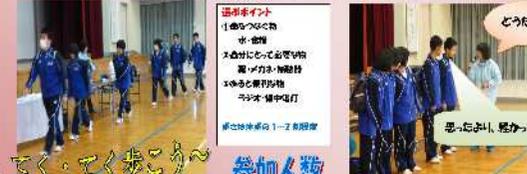
↑
DIG（災害
図上訓練）の
様子

防災研修センターによる出前講座

非常持出品について考えよう！！



異なる重さのリュックを背負ってもらいました



でく・でく歩こう

参加人数
240人

その他の取組

- ・MBCラジオ「防災ワンポイント」
- ・防災・お天気フェア
- ・防災啓発研修会 等

区分	対策内容	実施内容	事業主体	工程		
				短期	中期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	地域の防災力向上	・防災研修，出前講座等	鹿児島県，和泊町，知名町			

沖永良部島地域流域治水プロジェクト

～いつか必ずくる大規模出水に備え、水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策～

地域の防災力向上【鹿児島県，和泊町，知名町】

個別避難計画作成

- ・ 市町村においては，災害対策基本法に基づき，避難を支援するための避難行動要支援者名簿（以下「名簿」という。）の作成が義務づけられており，本県では，全市町村が作成済となっている。
- ・ 当該名簿については，本人の同意を得るなどし，市町村から消防機関や自主防災組織等へ提供できることとなっており，市町村において取り組んでいるところ。
- ・ また，市町村は，名簿情報に係る避難行動要支援者ごとに，個別避難計画を作成することとしており，令和4年4月1日現在の作成状況は，対象者全員が8団体，一部の対象者が31団体，未作成が4団体となっている。
- ・ 県では，引き続き，市町村に避難行動要支援者への対応に関する取組を紹介するなどして，名簿情報の提供や計画作成を促進してまいりたい。
- ・ これらを踏まえ，町の努力義務となっている個別避難計画の作成について，流域治水プロジェクトにおいても，あらゆる関係者と共に議論していく必要がある。

区分	対策内容	実施内容	事業主体	工程		
				短期	中期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	地域の防災力向上	・個別避難計画策定支援	和泊町，知名町			

沖永良部島地域流域治水プロジェクト

～いつか必ずくる大規模出水に備え、水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策～

防災避難訓練（石橋川・奥川水系）【和泊町】

・避難所開設，避難経路の確認を行い，水害を含めた災害時に備えて，迅速かつ適切な災害応急対策が行われるよう訓練を行う。また，訓練を通して地域住民の災害への防災意識向上を図る。

防災避難訓練



防災研修



区分	対策内容	実施内容	事業主体	工程		
				短期	中期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	地域の防災力向上	防災訓練	和泊町			

沖永良部島地域流域治水プロジェクト

～いつか必ずくる大規模出水に備え、水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策～

防災無線の個別受信機を全世帯へ設置（余多川水系）【知名町】



防災無線の個別受信機を全世帯へ設置し、防災情報の確実な伝達を図る。



区分	対策内容	実施内容	事業主体	工程		
				短期	中期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	地域の防災力向上	防災無線の個別受信機の全世帯への設置	知名町	▶		

沖永良部島地域流域治水プロジェクト

～いつか必ずくる大規模出水に備え、水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策～

ため池ハザードマップ作成・公表（石橋川・奥川水系）【和泊町】



ハザードマップの公表について

【経緯】

本町には決壊した場合に人的被害を与えるおそれのある防災重点ため池について、緊急時の避難経路や避難場所を示したハザードマップを作成・公表することで地域の防災意識の向上を図る。

【防災重点ため池とは】

決壊した場合の浸水区域に家屋や公共施設等が存在し、人的被害を与えるおそれのあるため池

(令和4年4月1日時点)

農業用ため池の総数	うち、防災重点ため池
6箇所	2箇所

※石橋川・奥川水系内にある農業用ため池数及び防災重点ため池数

和地区調整池

上手東池

ハザードマップには、ため池名、貯水量、緊急時の避難所を掲載



区分	対策内容	実施内容	事業主体	工程		
				短期	中期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	土地のリスク情報の充実	ため池ハザードマップの作成・公開	和泊町			

沖永良部島地域流域治水プロジェクト

～いつか必ずくる大規模出水に備え、水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策～

ため池ハザードマップの作成・公表（余多川水系）【知名町】



農業用ため池ハザードマップの公表

【目的】

大規模な地震や豪雨等で決壊した場合に人的被害のおそれがある防災重点ため池について、被害想定区域や避難場所を表示したハザードマップを作成し町ホームページに公表した。緊急時における迅速な避難につなげるとともに、地域住民の自主防災意識向上のため、マップの配布及び字公民館へ看板を設置し住民へ周知を行った。

【防災重点ため池とは】

決壊した場合の浸水区域に家屋や公共施設が存在し、人的被害を与えるおそれのあるため池。

農業用ため池（箇所）	うち防災重点ため池（箇所）
4	2

※余多川水系内にある農業用ため池数及び防災重点ため池数を掲載



区分	対策内容	実施内容	事業主体	工程		
				短期	中期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	土地のリスク情報の充実	ため池ハザードマップの作成・公表	知名町	▶		